

みずほ館の有効活用を進めています

町では、民間活力による公有財産の有効活用を図るため、NPO法人ココ・カラに対して「みずほ館」の使用を許可し、利活用促進や地域活性化に取り組んでいます。

また、今年4月1日より、同施設の管理業務をNPO法人ココ・カラに委託することとなり、以後、施設管理と地域活性化の両面において柔軟な対応や相乗効果が期待されます。

物産館」でお買い求めいただけます。

みずほ館においては、これまで隔週日曜日に「ミニコミュニティレストラン」を開店してきましたが、この4月からは毎週月曜日と金曜日にお茶を飲めるスペース「キッチンココ・カラ」を開設してまいります。

安平町特産の黒千石大豆を使ったお茶（無料）、コーヒーや高知県馬路村の柚子茶（以上有料）、手作りのお菓子を準備してお待ちしておりますので、気軽にお立ち寄りください。

NPO法人ココ・カラ
代表理事 内藤圭子

地場食材を活用した料理教室をはじめ、「おからハンバーグ」や黒千石大豆を使ったお菓子「きなこころ」や「おからクッキー」などの商品開発、販売なども行っています。「きなこころ」や「おからクッキー」は、JR早来駅併設「安平町



ていあんくんから



貴重なご意見ありがとうございます。

□ご意見（3月提案・無記名）
『給食の改善を求めます』

学校給食センターが新設されたから、給食がおいしくないと子どもたちの感想を聞いた。成長期に給食を残し、昼からお腹を減らしている状況では、子どもの健康状態が心配です。早急に何らかの対応をしてほしい。

※4月にも同様の意見がありましたので、合わせて回答します。

■回答
学校給食センターでは、各学校（園）において、保護者に寄る給食試食会、給食運営委員会での試食会の実施などにより、皆さんから意見や感想を聞かせていたが、季節の食材や地場産食材の活用と栄養価を考慮したおいしい給食づくりに努めています。

また、アレルギー専用の調理室を設け、児童生徒みんなが安心して給食を食べられるようアレルギー対応給食も実施しています。今後とも、より一層安心安全でおいしい給食づくりに努力していきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

ただきたいと考えております。また、道の駅にはレストランを設けない代わりに、ドリンクやスイーツ・スナック類などを提供するテイクアウトコーナーや焼きたてのパンを提供するベーカリーコーナーの設置を検討しています。安平町の新鮮野菜や特産品などを取り入れながら、皆さんに満足していただけるようなものを提供していきたいと思ひます。

□ご意見（2、3月意見・町民）
『おいしいものがある道の駅を』『地元から愛される道の駅に』

道の駅に期待しています。おいしいものがある道の駅なら近郊からのリピーターやインターネットの口コミで集客もあるでしょう。道産小麦を使ったパンや、おいしいレストランがあるといい。

おいしいお店があると通いたくなるし、観光客も喜ぶでしょう。地元から愛される道の駅になることを望みます。

■回答
道の駅に対しご提案頂き、誠にありがとうございます。道の駅に「美味しいレストランがある」ということですが、道の駅からは、町内の「美味しいお店」や「人気のお店」、「隠れた名店」などの情報を発信し、沢山の人がご当地の「食」を味わって

《ていあんくんへのご意見について》

ていあんくんに寄せられたご意見やご提案を広報紙で回答・紹介していますが、紙面の都合により掲載が遅れることがあります。

ご意見・ご提案に対する回答や町の考え方を提案者の方へお伝えするためにも、提案用紙及びホームページからの投稿の際には氏名と連絡先の記入をお願いします。

なお、氏名等の記載が無い場合や匿名でのご意見に対する回答は見送ることがございますので、ご了承ください。

（総務課情報グループ ☎2511）

□ご意見（企画財政課企画グループ）
☎2751